

左手の掌で受ける。

誰 五指の指頭を後方にさし掌を右側にし



た右手の甲を右
頬につける。

達磨 上向け

た左手掌の上
に、指頭を上
にさした親指の右
手をのせたまま

おき上りこぼしがぐらぐら体を揺るように右
を左右に動かす。

タワアー 五指の指頭を前方にさし掌を下
に向けた両手を左右下から上へ上げて行く
(自然に右手掌は左側に向き左手掌は右側に
向き)タワアーの高さを表わす。

載れる 「嘘」の手まねをして次に、掌を
下に向けた両手の五指の指頭を左右夫々の頬
に直角にさして、その両手を同時に前後水平

に動かす。

短気 小心——直ぐ——憤る。

団子 左手の親指と人差指で輪をつくり、
その輪の上に右手人差指を十字にのせ、団子
の串形を表わし、それを(右の人差指
にして食べる真似)。

短縮 五指の指頭を集め合わせた両手
頭で左右に広い間隔を置いて向い合わせ、次
にぐっと接近させて僅かな間隔をおいてとめ
る。広く張ったゴム紐を短く縮める心持ち。
誕生日 生れる一月日(両手を上下にし
て、「いくつ」とばかり五指を親指から順次
に折り曲げて行く)。

箏筒 両手の掌を上向けて、箏筒の引出し
の環を掴んで手前に引く。この身振を上から
下へ位置を変えて二三度繰り返す。

断然 「決心」と同じ手まね。但し、「決
める」の左手掌に右手掌を打ちつける動作を

強くする。

だんだんに「次第に」と同じ手まね。

談判 「争う」の回と同じ。

談話 五指を集め合わせた両手を指頭で向い合わせて、交互に何にかを投げつけるように五指を開く。言葉を吐き合わせる事。

反物 五指を彎曲した両手を（円棒の両端を両手で持った姿態）前方下へ回転せる。

（反物を巻き上げる身振）

鍛錬 「稽古」の手まねを大きく力を入れて表わす。

チ

血 頬又は腕の一ヶ所を僅かに、人差指で切る真似をして、そこから人差指と親指の指頭を合わせて、下へ伝たわらせ（流れ落すこと）——添。

遅延 遅い—時間（或は月日）—過ぎる。

智恵 「賢い」と同じ手まね。

近頃 少し—過去—から（時間の流れ）

地下鉄 掌を下向け五指の指頭を右にさした左手を地面として、その地下に「電車」の手まね。

近い 「少し」の要領で両手で表わす。即ち

両手（掌を上向け）夫々の指頭の上にさした人差指の僅か下に親指の指頭をつけ（これで「少し」の手まね）両手の間隔を短くして、同時に両指を弾ねるように開く。両者の間が少し即ち「近い」と云うこと。



「近い」と云うこと。

誓い 天（人

差指で天をさ

し）—約束。

違う 「相違」